



**東京メトロオープンデータの取組**  
**4月以降もオープンデータの提供を継続します！**  
4月6日（月）から新規登録の受付を開始します。

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）は、創立10周年記念行事の一環として、日本の鉄道事業者として初めて全線の列車位置、遅延時間等に係る情報をオープンデータで公開し、当該データを活用したアプリの開発を競う「オープンデータ活用コンテスト」を2014年9月12日（金）から実施しましたが、4月以降もデータの提供を継続するとともに、4月6日（月）から新規登録の受付を開始します。

コンテストでは、想定を大幅に上回る281作品ものご応募いただきました。また、応募いただいた方の年齢、職業等多岐にわたり、多くの方からの注目をいただけるコンテストとなりました。

このたび、これだけご評価いただけたこと、また、訪日外国人のお客様をはじめとするすべてのお客様に東京メトロをわかりやすく快適にご利用いただけるようなアプリ開発等に利活用いただけるよう、現在提供しているデータを4月以降も継続して提供します。

コンテストに応募いただいた方に提供したデータを継続提供するとともに、4月6日（月）からは、新規にデータを利用されたい方の登録も受付を開始します。

今後は、提供するデータを増やすなど、東京メトロの提供するデータをより有効に利活用いただける取組を進めていきますので、ご期待ください。

なお、4月以降の取扱いについては、別紙のとおりとなります。

## 【4月以降、オープンデータとして提供するデータ】

## 《1分ごとに配信する動的データ》

- ・列車の運行情報（方面、列車番号、列車種別、始発駅・行先駅、車両の所属会社、遅延時間（5分以上の遅延を「遅延」として表示））
- ・列車の位置情報（ホーム、駅間の2区分）

《東京メトロホームページにおいて公開している情報についてデータ形式を変えて提供する静的データ》

- ・駅時刻表 ・列車時刻表 ・駅施設情報 ・駅出入口情報 ・駅の乗降人員数
- ・路線情報 ・運賃

## 《東京メトロ関連の画像データ》

- ・東京メトロのシンボルマーク「ハートM」画像
- ・駅ナンバリングマーク画像

## 【データ提供を受けるための登録方法】

2015年4月6日（月）から東京メトロ オープンデータ開発者サイト (<https://developer.tokyometroapp.jp/info>) においてご案内いたします。

## 【2015年4月1日以降のデータ使用に当たっての取扱い】

「オープンデータ活用コンテスト」において、データの利用及びアプリ開発等に対して、いくつかの条件を規約の中で設けていましたが、2015年4月1日以降当面の間は、次のとおり条件を改めることとします。

「オープンデータ活用コンテスト」の 応募規約・API利用許諾規約において課した条件		平成27年4月1日以降の取扱い
データ提供の継続 について	データの提供期間は平成27年3月末までとする。 それ以降は改めてWebで告知する。	・コンテストへの応募アプリの開発者に対しては継続してデータ提供を行う。 ・また、新規登録された方に対してもデータ提供することとする。 ※新規登録については、4月6日（月）から受付を開始する。
登録の要否について	データの提供を受けるためには登録を必須とする。	・登録された方に対してのみデータ提供することとする。 ※新規登録については、4月6日（月）から受付を開始する。
データの使用目的 について	データを応募アプリ開発以外の目的で使用することを禁止する。	データの使用目的の制限を解除する。 ただし、有償か無償かに係らず商業目的での利用は禁止する。
アプリへの広告掲載、 課金について	平成27年3月末まではアプリへの広告掲載、 アプリ内での課金を禁止する。 それ以降は改めてWebで告知する。	・アプリ等への広告掲載、アプリ等内での課金は禁止する。
アプリのバージョンアップ、 改良等について	平成27年3月末までは応募アプリのバージョン アップ、改良等を禁止する。	・応募アプリのバージョンアップ、改良等の禁止は解除する。

上記の取扱いの変更については、東京メトロ オープンデータ開発者サイト (<https://developer.tokyometroapp.jp/info>) にも掲載します。